

質問順位	10	質問者	寄谷猛男議員	
件名	項目	要 旨		メ モ
1. 市長の基本姿勢	1. 市民に信頼される市政運営について	1. 旭川医科大学で開かれている学長選考会議では、「報道に上がっている様々な学長としての適格性に係る案件も含めて審議する必要がある」との意見が出されており、滝川市立病院とのアドバイザー契約も審議の対象となり得る。旭川医科大学とのアドバイザー契約は相手方に定期的に何かを求めるわけではなく、また月額40万円の報酬については旭川医科大学医学部医学科同窓会が会員を対象に行ったアンケートでは回答者の90%以上が「まったく不適切」「どちらかというと不適切」と回答している。そのアドバイザー契約を約14年間にわたり更新し続けたことを「記録が残っていない」で済ませていいのか。また、契約を継続し続けたことに問題はなかったのか、さらに、建替え後一定期間経過した段階で止めるべきではなかったのかを検証する必要があるのではないか。市の考えを伺う。		
		2. 平成21年に公正な職務の執行にかかる実効性を確保するために公正職務審査会が設置されている。ホームページを見る限りでは何年も開催されていない。運用状況について伺う。		
		3. 「滝川市職員等の公正な職務の執行の確保に関する条例」は職員の責務を第3条で定めており、同条第1項第3号では市民の疑惑や不信を招くような行為を禁止し、同条第4項では公金の厳正な執行を定めている。これらの規定に抵触あるいはその疑義のある場合、どのように対処するのか。また、公正な職務の執行にかかる実効性を確保するための仕組みが不十分ではないのか。さらに、公正職務審査会の対象範囲を広げる、あるいは新たな審査機関の設置が必要ではないか。市の考えを伺う。		

質問順位	10	質問者	寄谷猛男議員	
件名	項目	要旨	メモ	
	2. 効率的な市政運営について	1. 5月に新型コロナウイルスワクチン接種の予約受付が開始されたが、多くの市民から電話が繋がらないとの苦情が市に寄せられた。今回のワクチン接種事業は初めて経験する部分も多く、また、体制が迅速に整わない等の事情もあったかと思うが、臨機応変な対応等に課題があるのではないかと。今回の教訓を今後の市政運営にどのように活かしていくのか考えを伺う。		
		2. 課題のひとつに市民周知・ネットワーク網があるのではないかと。町内会組織での広報配布が困難なところもあり、市からの迅速な周知等が難しい住民が発生している可能性がある。町内会、学校、民間組織等のネットワークから漏れる住民の対応等について防災の観点からも手だてをとる必要があるのではないかと。市の考えを伺う。		
2. 市民生活行政	1. 性的少数者も住みやすいまちづくりについて	1. 夫婦別姓、同性婚など性に関わる訴訟や法制定の動きが社会的に注目されている。しかし、法制定による解決にはまだまだ時間を要し、自治体で解決できることへの期待は大きい。滝川市が定めた行政サービスのなかで配偶者・親族など戸籍上の関係がないと利用できないものにどのようなものがあるのか。併せて、個別の改善や、札幌市などがLGBTなど性的少数者のカップルを公的に認める「パートナーシップ制度」などの導入についての考えを伺う。		

質 問 順 位	1 0	質 問 者	寄 谷 猛 男 議 員	
件 名	項 目	要 旨	メ	モ
	2. アイヌ民族の歴史、文化、生活を伝えていく取り組みについて	1. アイヌ民族を法律で初めて先住民族と位置付けたアイヌ施策推進法が施行されてから2年がたつ。新法でアイヌ政策推進交付金が創設されたがその活用は地域間で大きな差があるといわれている。滝川市では國學院大學北海道短期大学部においてアイヌ民族の住居チセが作られ学生や市民がアイヌ文化に触れる企画も催されたが、研究者もいなくなり、チセも老朽化し解体の予定と聞く。また、当市にも精通した人材がいないと聞く。このままでは、地元で市民や子どもたちがアイヌ民族の歴史や文化、生活に触れる機会がなくなる。アイヌの講師や団体を招いて市民がアイヌ文化に触れる機会を創出する必要があるのではないかと。市の考えを伺う。		
3. 教育行政	1. 江部乙中学校の跡地の利活用について	1. 江部乙中学校が来年閉校となる。滝川市と合併し50年を迎えるが江部乙地域には中学校も高校もなくなり、地域振興をはかるためには道の駅、改善センターと合わせて中学校の跡地を積極的に活用すべきではないかと。校舎の向かいには桜の公園の整備が進み環境も良好である。市の考えを伺う。		